



第1号

昭和30年5月12日  
発行

### 町広報誌を振り返る

町広報誌「広報よりのい」は、もうすぐ800号を迎えます。そこで今月号から800号まで、町広報誌のバックナンバーを紹介するとともに町の歴史を振り返ります。今回は昭和30年5月12日に発行された町広報誌の第1号を紹介いたします。

### ピックアップニュース

#### 4月の臨時総議会での 総辞職

昭和30年2月の新寄居町誕生  
生寄居町・折原村・鉢形村・男  
衾村・用土村が合併に伴い町

議員の任期が延長してしましたが、4月の臨時総議会で町議員が早期に総辞職したことが取り上げられています。  
また、昭和30年5月15日執行の町議会議員選挙は小選挙区制で行われ、議員定数は30

人だったことが分かります(現在は16人)。  
**初代寄居町長 岩田周氏  
就任のあいさつ**

昭和30年2月に新しい寄居町が発足してから数カ月ながら町政が軌道に乗ってきたこと、都市計画、観光、農業、教育の振興に対する抱負が述べられています。

### 円良田ダム完成 総工費1億5千万円

昭和17年11月から着工した円良田ダムが昭和30年3月末に完成したことが取り上げられています。町の水田約200町歩(1町歩は約1ヘクタール)がかんがいされ、寄

居の水路が完成すれば収穫高は4270石(1石は約150キログラム)にもなるとあります。寄居町と美里町にまたがる円良田湖は、現在もかんがいに利用されています。  
また、「東上線、八高線、秩父線を利用して勝地玉淀からつぶら田湖へのハイキングコースは一日の行楽として申し分ないであろう」とあり、当時からハイキング客が訪れていたことが分かります。

### 春期町内野球 男衾優勝

第1回寄居団体協進野球大会が開催され、男衾チームが優勝したとあります。陸上の設楽悠太選手や柔道の新井千

鶴選手などの出身地である男衾地区ですが、当時からスポーツ選手を出せる環境があったのかもしれない。

### 寄居町の主なできごと(昭和30年)

- 2月 新寄居町誕生  
(寄居町・折原村・鉢形村・男衾村・用土村が合併)
- 3月 町長選挙執行  
初代町長に岩田周氏当選
- 4月 金尾簡易水道給水開始  
折原簡易水道給水開始
- 5月 町議会議員選挙執行  
(定員30人・小選挙区制)
- 9月 象ヶ鼻に英霊塔建設

オモテ

昭和30年5月12日 寄居町公報 (第1号)

四月臨時総議会  
予算等二十四件可決  
議員総辞職

議員等の報酬  
萬村通

町議会議員定数三十名  
小選挙区制で  
六四〇名

消防団員  
六四〇名

三十年度予算  
五九六〇八六三圓

町議会議員選挙  
立候補者四十名

※当時は「広報」ではなく「公報」と表記されていました。

ウラ

昭和30年5月12日 寄居町公報 (第1号)

農家事報  
馬鈴薯防除  
稲作の準備  
自衛官募集

円良田ダム完成  
総工費一億五千万円  
(寄居) 救護員一七〇石に

鉢形地区議会  
議長に横田平吉氏

役場の  
改組人事

支所の人事  
安所の人事

野島に稲穂を  
ハッピーウイーク

結婚の  
手続

延滞金がいりません

大掃除の日

17日 班検査